B5FY-8971-01 Z0

FMV

FMV シリーズ

# オンラインマニュアル

## カラー液晶ディスプレイ -17

（VL-176SE/176SX/177SS）

## 保護パネル付カラー液晶ディスプレイ -17

（VL-177SSP）

FUJITSU

# はじめに

このたびは、弊社のカラー液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2008 年 10 月

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。（詳しくは、保証書をご覧ください。）
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。
- 保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

## 有寿命部品について

- 本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

**＜主な有寿命部品＞**
LCD パネル、アルミ電解コンデンサ

## VCCI 適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

**静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて**

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

**電源の瞬時低下について**

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

**PC グリーンラベルについて**

本製品は PC3R『PC グリーンラベル制度』の審査基準（2008 年度版）を満たしています。
詳細は、WEB サイト http://www.pc3r.jp をご覧ください。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/

## ■警告表示について

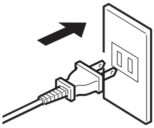
本マニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみの発生する可能性があることを示しています。 |

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

| | |
|---|---|
| ⚠ | △で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。 |
| ⊘ | ⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。 |
| ❗ | ●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。 |

## ■電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。
このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

## ■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

| 記号 | 意味 |
|---|---|
| 重要 | お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
| POINT | 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。 |
| → | 参照ページや参照マニュアルを示しています。 |

## ■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>VL-176SE/VL-176SX/VL-177SS/VL-177SSP</td><td colspan="2">本製品</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Ultimate</td><td rowspan="5">Windows Vista</td><td rowspan="7">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Premium</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Basic</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Business</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Enterprise</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td rowspan="2">Windows XP</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td></tr>
</table>

## ■警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

## ■商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
VESA、DDC は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

## ■液晶ディスプレイ本体

### ⚠警告

- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
  その後、異常な現象がなくなるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.41）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
  異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.41）、またはご購入元にご連絡ください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.41）、またはご購入元にご連絡ください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、雷がやむまで取り付けないでください。
  そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。
- 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
  感電・火災の原因となります。
- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
  感電・火災の原因となります。
  修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.41）、またはご購入元にご連絡ください。
- 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
  口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

・本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

・振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。

・本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

・本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。

・矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源等）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

・添付もしくは指定された以外の電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付の電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

・清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

## ⚠注意

・本製品を布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際は本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

・本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

・本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

・本製品をお使いになるときは次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 〜 15 分の休憩時間や作業時間中に小休止を取るようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。また、画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。
- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- 手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。

・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

・本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所で使用しないでください。
本製品が腐食する可能性があります。

## ■電源コード

### ⚠警告

・電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

・電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）またはパソコン本体のアウトレットに直接かつ確実に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

・電源コードの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。

・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.41）、またはご購入元にご連絡ください。

・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。

・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

### ⚠注意

・電源コードを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

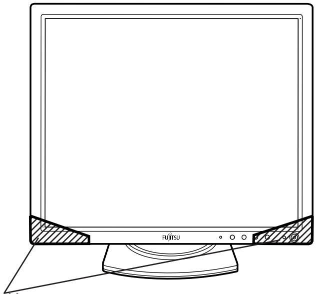
・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

## 使用上のご注意

・液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用して画面の表示を中断するか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。省電力機能などを利用して、自動的にディスプレイの電源を切る設定は、「電源プランの選択」ウィンドウ（Windows Vista）、または「電源オプションのプロパティ」ウィンドウ（Windows XP）で行います。詳しくは、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。また、スクリーンセーバーの設定については、Windows のヘルプをご覧ください。
- 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
- 周囲環境（温度）によって、表示状態が影響を受けることがあります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの、表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。

これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

- 液晶ディスプレイの取り扱いについて
  - 衝撃を与えたり、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。
  - ひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。画面に傷が付く原因になります。
- 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- 持ち運ぶときは画面やスタンド部を持たないで、下の図のように画面下部を両手で持ってください。背面のカバーを持つと、カバーが外れて本製品を落とす危険があります。




（イラストは機種や状況により異なります）

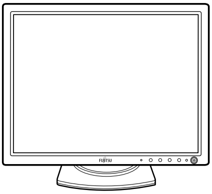
- 画面をアルコールの成分を含んだ市販のクリーナーなどで絶対に拭かないでください。
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
  「日常のお手入れ」(→ P.42)
- 本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどの電波を発する機器を使用すると、本製品の画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
- 本製品は電源を切っても待機電流が流れます。長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ディスプレイケーブル、電源ケーブルなどの接続されている各種ケーブルを引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

# 目次

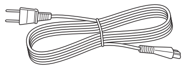
# 1 製品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあった場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

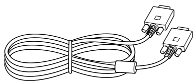
## □ 全製品共通



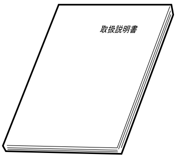
カラー液晶ディスプレイ本体
（緩衝材を外してご使用ください）



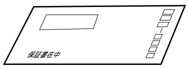
電源ケーブル



ディスプレイケーブル

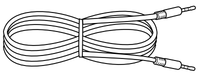



取扱説明書

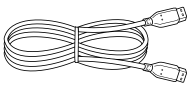



保証書

## □ VL-177SS、VL-177SSP の場合

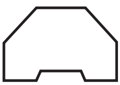


オーディオケーブル



USB ケーブル（PC 接続用）

## □ VL-177SSP の場合



ジグ

# 2 本製品の特長

## 1 大画面・高解像度・省スペース

- 19 型 CRT に相当する大画面です。
- 1280 × 1024 ドットの解像度で最適に表示されます。
- スタイリッシュな狭額縁デザインを採用し、ワークスペースを広く使えます。

## 2 DDC/CI 対応

本製品は、VESA の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。パソコン本体が DDC/CI 規格に対応している場合は、DDC/CI 機能を使って画面を設定できます。

## 3 sRGB 対応

ディスプレイとプリンタ／スキャナ／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である sRGB での表示が可能です。

**POINT**

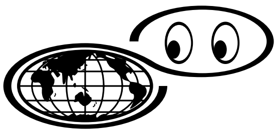
- sRGB とは、ディスプレイ／スキャナ／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンタで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。
  sRGB の設定については「細かい設定を行う」（→ P.29）をご覧ください。

## 4 親切な自動調整機能

初めて入力された解像度（モード）でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度（モード）を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。もし、自動調整をやり直したいときでも、ボタン 1 つで行うことができます。

## 5 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。
このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。




## 6 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームや壁掛けキットに取り付けることができます。

**POINT**

- 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアーム、壁掛けキットを取り付けるインターフェースの略語です。
  インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類あります。
  本製品では 75mm × 75mm を使用します。

### 7 エコモード機能（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、およびワンタッチで明るさを最小にする機能の 2 モードを搭載しています。
本機能を使用すると最大約 50％の消費電力を低減できます。

### 8 スピーカー内蔵（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

### 9 USB ハブ内蔵（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

アップストリームポートを 1 ポート、ダウンストリームポートを 2 ポート内蔵していますので、USB に対応したパソコン周辺機器を簡単に接続できます。

**POINT**

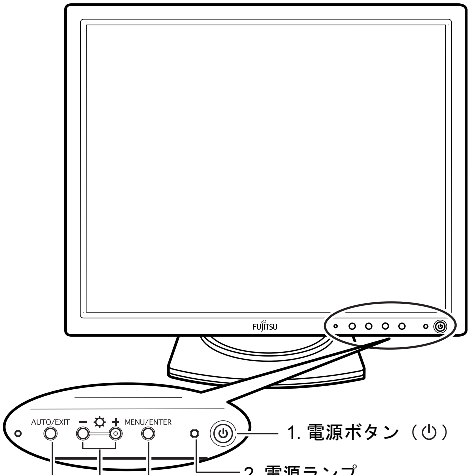
- 「USB」とは「Universal Serial Bus」の略で、パソコンと周辺機器を接続するためのインターフェース規格です。
  パソコンの電源を入れたまま接続できる、多数の周辺機器を同時に接続できるなどの利点があります。
- 「ハブ」とは 1 つのポートを複数のポートに振り分ける分配器です。

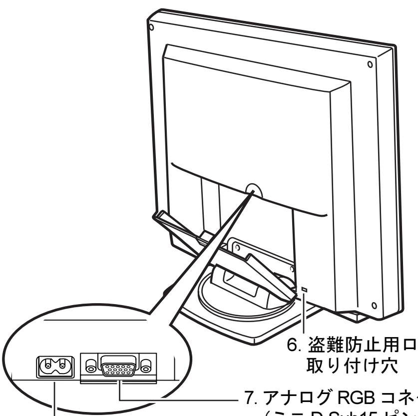
### 10 保護パネル装着（VL-177SSP の場合）

画面（液晶パネル）の傷つき防止のために、保護パネルを装着しています。

# 3 各部の名称と機能

## VL-176SE、VL-176SX




**1 電源ボタン**（⏻）

電源を投入、切断します。

**2 電源ランプ**

電源が入ると緑色に点灯、省電力時はオレンジ色に点灯します。

**3 MENU/ENTER ボタン**

メニュー画面を表示、調整項目を決定、設定値を保存するときに押します。

**4 ＋／－ボタン**

**（ブライトネスボタン：☼）**

メニュー画面上で各項目の選択や設定値を変更するときに押します。メニュー表示されていないときは画面の明るさを調節できます。

**5 AUTO/EXIT ボタン**

画面を自動調整するときに押します。また、メニュー画面を消すとき、調整項目、設定値を取り消すときに押します。

**6 盗難防止用ロック取り付け穴**

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

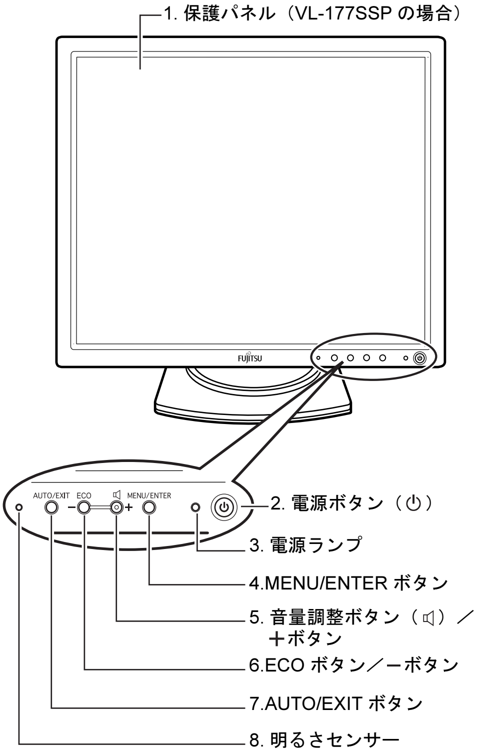
**7 アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン）（▭）**

パソコン本体とディスプレイケーブルで接続します。コアの付いていない側のケーブル端を本製品に接続します。

**8 電源コネクタ**（AC-IN）

電源ケーブルを接続します。

# VL-177SS、VL-177SSP




**1 保護パネル（VL-177SSP の場合）**

画面（液晶パネル）が傷付くのを防ぎます。

**2 電源ボタン（⏻）**

電源を投入、切断します。

**3 電源ランプ**

電源が入ると緑色に点灯、省電力時はオレンジ色に点灯します。

**4 MENU/ENTER ボタン**

メニュー画面を表示、調整項目を決定、設定値を保存するときに押します。

**5 音量調整ボタン（🔈）／＋ボタン**

メニュー画面が表示されていないときは、液晶ディスプレイのスピーカー音量を調節できます。

メニュー画面や音量調整画面が表示されているときは、設定値を調整します。

**6 ECO ボタン／－ボタン**

「エコモード」機能（OFF/AUTO/ON）を切り替えるときに押します。

「「エコモード」機能について（VL-177SS、VL-177SSP の場合）」（→ P.28）

メニュー画面や音量調整画面が表示されているときは、設定値を調整します。

**7 AUTO/EXIT ボタン**

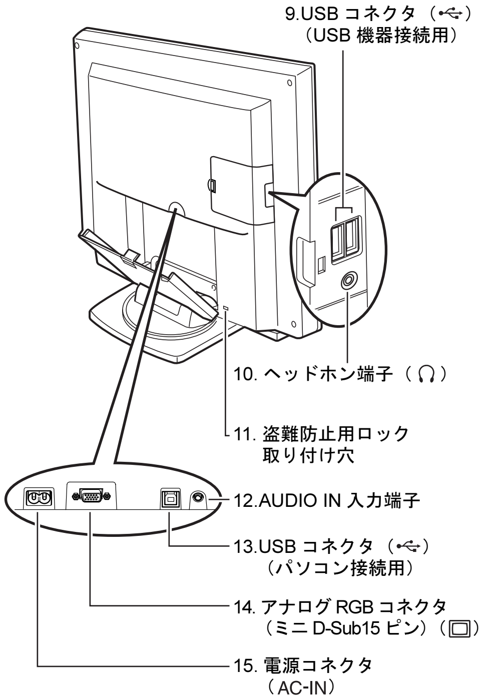
画面を自動調整するときに押します。また、メニュー画面を消すとき、調整項目、設定値を取り消すときに押します。

**8 明るさセンサー**

周囲の明るさを検知します。

「エコモード」機能の「AUTO」設定時に使用します。

「「エコモード」機能について（VL-177SS、VL-177SSP の場合）」（→ P.28）




**9 USB コネクタ（⭠）（USB 機器接続用）**
USB 機器を接続します。

**10 ヘッドホン端子（🎧）**
ヘッドホンを接続します。

**11 盗難防止用ロック取り付け穴**
市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

**12 AUDIO IN 入力端子**
パソコン本体とオーディオケーブルで接続します。

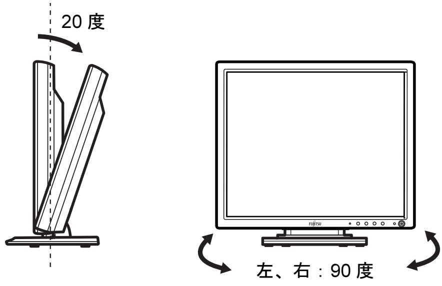
**13 USB コネクタ（⭠）（パソコン接続用）**
パソコン本体と USB ケーブルで接続します。

**14 アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン）（▭）**
パソコン本体とディスプレイケーブルで接続します。コアの付いていない側のケーブル端を本製品に接続します。

**15 電源コネクタ（AC-IN）**
電源ケーブルを接続します。

## 画面の角度調節について（全製品共通）

ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端を掴み、任意の角度に調節してください。




（イラストは機種や状況により異なります）

### ⚠注意

- ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

# 4 液晶ディスプレイの接続

## 接続の前に

- すべての接続が終了するまで、本製品とパソコン本体の電源は入れないでください。

**POINT**

▶ パソコン本体への接続については、パソコン本体のマニュアルもご覧ください。

- 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する場合、本製品の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れてください。
- 本製品の仕様と、パソコン本体の仕様を確認してから、接続してください。
「標準表示仕様」（→ P.51）

## 本製品を設置する

### ⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。

  - 本製品を設置する場合は、安定した場所に設置してください。
  - 本製品を窓際に設置する場合は、液晶パネルに直接太陽光が当たらないようにしてください。
  - テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

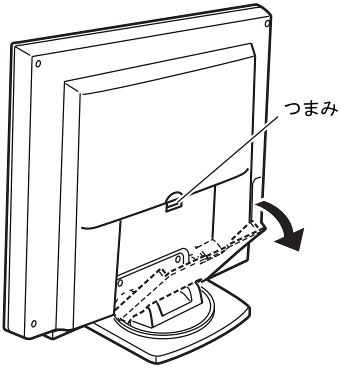
**POINT**

▶ VESA FDMI 規格対応のアームや壁掛けキットを使用して設置する場合は、「アーム、壁掛けキットの取り付け方法」（→ P.22）をご覧ください。

# パソコン本体と接続する

**1** **本製品背面のケーブルカバーを取り外します。**

つまみを下に押し下げながら、手前に引きます。



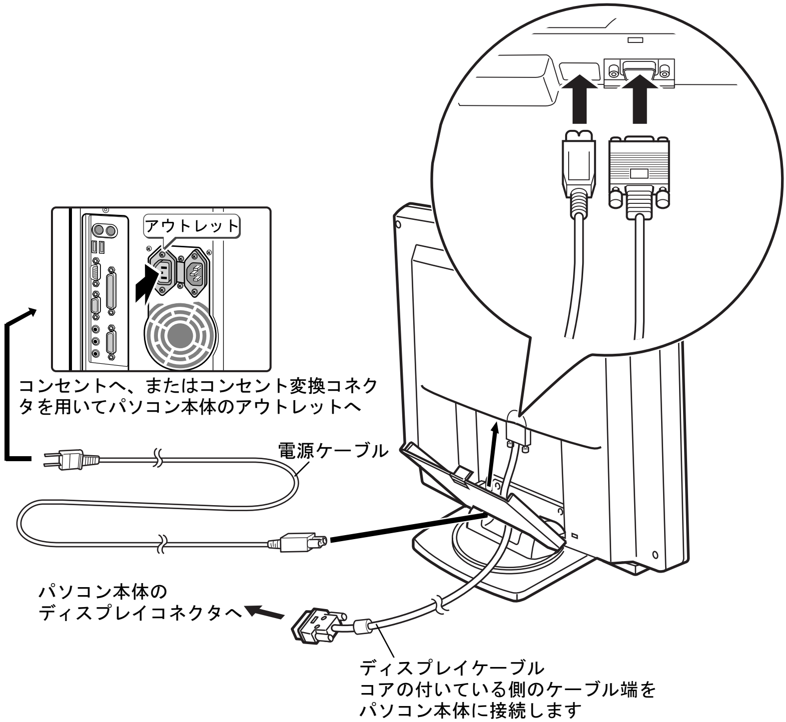
## 2 ケーブルを接続します。

■ パソコン本体にアウトレットがない場合

電源ケーブルをコンセントに接続します。

■ パソコン本体にアウトレットがある場合

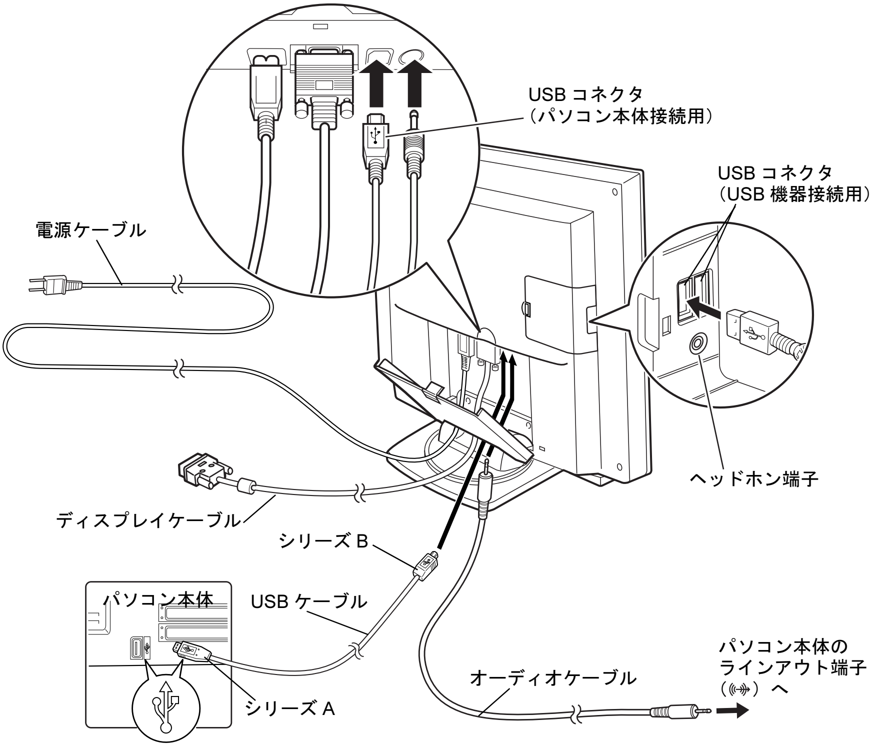
電源ケーブルをパソコン本体のアウトレットに接続します。
本製品の電源がパソコン本体の電源と連動して入ります。
初めて電源を入れるときは、パソコン本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。ケーブル接続後に本製品に一度電源が入ってからは、パソコン本体の電源が入ると自動的に本製品にも電源が入ります。パソコン本体を起動するたびに本製品に電源を入れる必要はありません。




### ⚠注意

- 本製品は、コンセントまたはパソコン本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
- 万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

## 3 オーディオケーブル、および USB ケーブルを接続します（VL-177SS、VL-177SSP の場合）。




注 : USB をお使いの場合、電源ケーブルはパソコン本体のアウトレットを使用せずに、近くの壁のコンセントに接続してください。

**POINT**

- USB ケーブルでパソコンと接続すると、本製品の USB ハブ機能（→ P.21）を使用することができます。
  本製品に USB 機器を接続しない場合は USB ケーブルを接続する必要はありません。

## 4 本製品背面のケーブルカバーの開口部にケーブルを通し、ケーブルカバーを取り付けます。

# USB ハブの接続について（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

・本製品の USB ハブを初めてお使いになる場合、まず、他の USB 機器を接続しない状態でパソコンと USB ハブのみを接続し、パソコンに USB ハブを認識させてください。

**POINT**

▶ パソコンがUSBハブを認識するまで、USBハブにUSB機器を接続することはできません。

・USB 機器を接続する前に USB ハブが認識されているか確認してください。

**POINT**

▶ デバイスマネージャ上で USB ハブが認識されているか確認することができます。USB ハブが認識されてから、USB 機器を接続してください。
「デバイスマネージャ上での確認方法」（→ P.40）

▶ パソコンに USB ポートが複数ある場合、どのポートにも接続できます。
パソコンの電源が入ったままでも本製品を接続できます。

・USB ハブへの接続は、本製品とパソコンの電源を入れたままで行えます。
・パソコン本体が USB ハブおよび USB 機器を認識するまでに数秒～数十秒必要です。認識されるまでの間、コネクタの抜き差しは行わないでください。
・USB 機器を接続するときは、必ず本製品の電源を先に入れてください。
・パソコン本体との接続には、本製品に添付されている USB ケーブルを使用してください。他の USB ケーブルを使用すると、正常に動作しない場合があります。

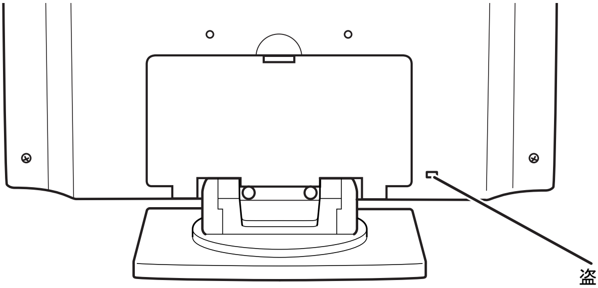
**POINT**

▶ 各 USB コネクタ（USB 機器接続用）に USB 機器を接続できますが、1 ポートあたりの供給可能電流は 500mA です。

・パソコン本体の OS や BIOS の設定状態によっては、USB ハブが動作しないなどの制限事項があります。この場合は接続するパソコン本体のマニュアルをご覧ください。
・USB 機器を接続している場合、接続している USB 機器の種類によっては Windows を正常に終了できないことがあります。この場合は、USB 機器を取り外してから Windows を終了してください。
・接続する USB 機器によっては、専用のドライバのインストールが必要となる場合があります。この場合は USB 機器のマニュアルをご覧ください。
・USB インターフェースは、市販されている USB 機器の全動作を保証するものではありません。USB ハブに接続しても正しく動作しない場合は、パソコン本体の USB コネクタに USB 機器を直接接続してご使用ください。
・コネクタを奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。

## 盗難防止について

本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



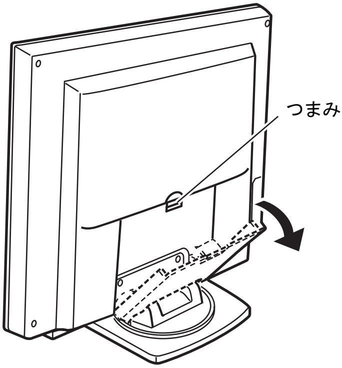

## アーム、壁掛けキットの取り付け方法

本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームや壁掛けキットを取り付けることができます。
ドライバーをご用意ください。

**重要**

- 本製品に取り付けるアーム､壁掛けキットはVESA FDMI規格に適合したものをお選びください。
- 本製品に取り付けられるアーム、壁掛けキットは次のものになります。
  - ・取り付ける部分のネジ穴の間隔が 75mm × 75mm のもの。
  - ・M4 × 10mm のネジで、取り付けができるもの。
  - ・8kg の重さに耐えられるもの。
- 取り付けおよびアーム、壁掛けキットの設置に際しては、アーム、壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。
- ネジは、VESA FDMI 規格対応のアーム、壁掛けキットに添付されているもの（M4 × 10mm）を必ず使用してください。
- ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

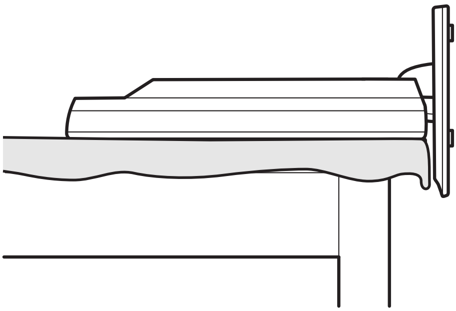
**1　本製品背面のケーブルカバーを取り外します。**




**2　接続されているケーブルをすべて取り外します。**

「パソコン本体と接続する」手順 2（→ P.19）

**3　カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。**

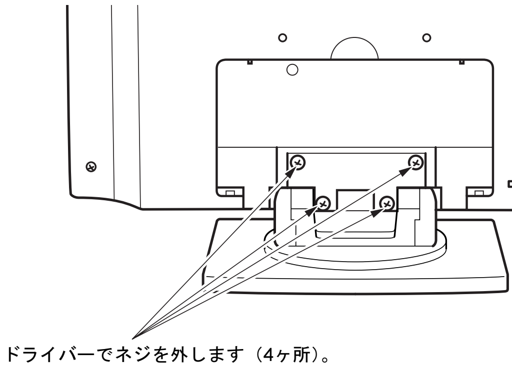


## 4 スタンドを取り外します。

ネジ（4ヶ所）を外した後、スタンドを取り外します。

### ⚠注意

・スタンドは必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。

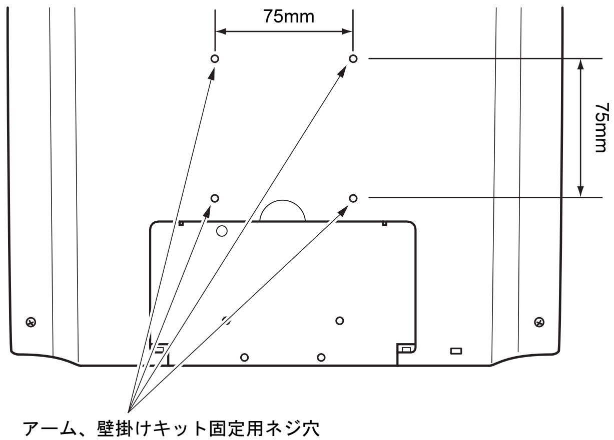



**POINT**

▶ 取り外したスタンド、ネジは、スタンド使用時に必要ですので、大切に保管してください。

## 5 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームや壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アーム、壁掛けキットに添付されているネジ 4 本（M4 × 10mm）で取り付けてください。



**6** **アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。**

「パソコン本体と接続する」手順 2（→ P.19）

**重要**

- アーム、壁掛けキットを設置する際は、アーム、壁掛けキットのマニュアルをご覧ください。

**POINT**

- アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

**7** **手順 1 で取り外した背面のケーブルカバーを取り付けます。**

## スタンドの取り付け方法

・アーム、壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アーム、壁掛けキットの取り付け方法」（→ P.22）の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

# 5 ディスプレイドライバ（INF ファイル）のインストールについて

## 初めて電源を入れるとき

パソコン本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバ（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバのダウンロード／インストールを行ってください。

**POINT**

- 本製品のINF ファイルは、Windows Vista およびWindows XP でインストールできます。
- 他の OS でご使用の場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

## 最新のINFファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバ（INF ファイル）は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html）よりダウンロードできます。
「ドライバダウンロード」をクリックし、「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

# 6 液晶ディスプレイのセットアップ

## AUTO セットアップアクション機能について

本製品は、次の場合、最適な表示を得られるように画面位置・水平サイズなどを自動調整します。

・初めてディスプレイを本体に接続した場合

・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定された場合

### 重要

- AUTO セットアップアクションは本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.51）。
- 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- AUTO セットアップアクションは、「コマンドプロンプト」のような黒っぽい表示では動作しない場合があります。その場合は画面全体を白っぽい表示にしてから AUTO/EXIT ボタンで自動調整を行ってください（→ P.29）。

  ・表示画面を白い画面にするには

  （Windows Vista の場合）

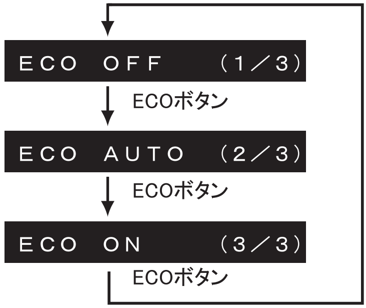
  1. 「個人設定」で「デスクトップの背景」を選択します。
  2. 「画像の場所」の「純色」を選択します。
  3. カラーパレット選択画面の中から白色を選択して、「OK」をクリックします。

  （Windows XP の場合）

  1. 「画面のプロパティ」で「デスクトップ」タブをクリックします。
  2. 「色」の「▼」をクリックして白色を選択します。
  3. 「背景」の「なし」をクリックします。

# 「エコモード」機能について（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「エコモード」機能が搭載されています。
「エコモード」には「OFF」「AUTO」「ON」の 3 種類があり、通常時の消費電力を最大で約 50% 低減することができます。
ECO ボタンを 1 回押すと、現在の「エコモード」の状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り替わります。




| モード名 | 機能 |
|---|---|
| OFF | 出荷時の設定です。メニュー画面の「BRIGHTNESS」で調整した明るさそのままで画面表示します。 |
| AUTO | 明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動で調整します。<br>周囲が暗くなると画面の明るさを下げ、消費電力を低減します。 |
| ON | 画面の明るさを最小にします。消費電力が最も少なくなります。 |

### 重要

- 明るさセンサー部は、先のとがったもので傷を付けないでください。
- 「AUTO」設定時は、明るさセンサー部（→ P.15）をふさがないようにしてください。
- 「AUTO」設定時に BRIGHTNESS 調整を行うと、調整後の明るさを基準に、周囲の明るさに応じた画面の明るさに調整します。
- 「ON」設定時に BRIGHTNESS 調整を行うと、「エコモード」は、「OFF」に設定されます。

# 細かい設定を行う

画面下部にある MENU/ENTER ボタンを押して表示されるメニュー画面の中から、個別に選択して調整することができます。ボタン類の操作は、次のようになります。

**POINT**

- 本製品は、画面下部にある AUTO/EXIT ボタンを押すだけで、画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動調整できます。さらに微調整したい場合は、メニュー画面での調整を行ってください。

## ■ボタンの機能

MENU/ENTER
- メニュー画面の表示
- 調整項目の決定
- 設定値の保存
- ボタンロックの解除

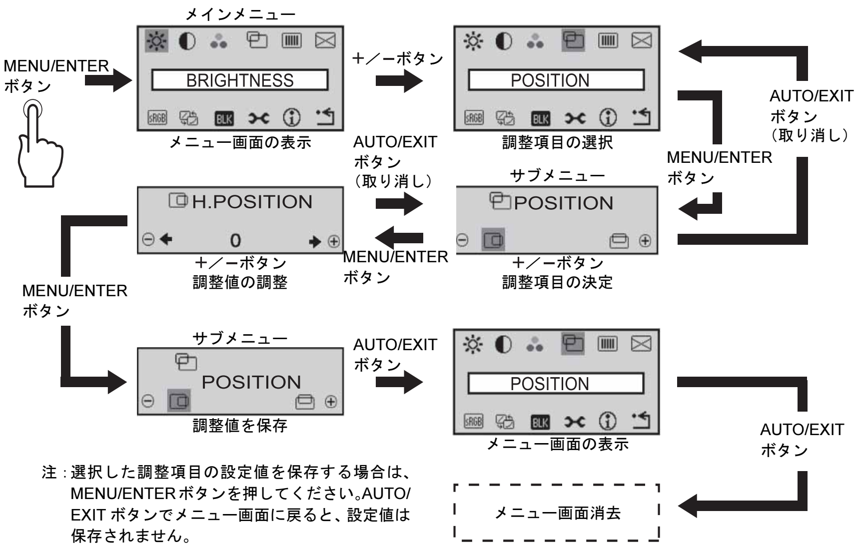
（－）　　（VL-176SE/VL-176SX の場合）
ECO（－）（VL-177SS/VL-177SSP の場合）
- 調整項目の選択
- 設定値の調整
- 画面の明るさの調整（VL-176SE/176SX の場合）
- エコモードの切り替え（VL-177SS/177SSP の場合）

AUTO/EXIT
- メニュー画面の消去
- 調整項目の取り消し
- 設定値の取り消し
- 自動調整

（＋）
- 調整項目の選択（メニュー画面表示時）
- 設定値の設定（メニュー画面表示時）
- 画面の明るさの調整（VL-176SE/176SX の場合）
- 音量調整画面の表示（VL-177SS/177SSP の場合）

### □ 調整例

例）画面位置




注：選択した調整項目の設定値を保存する場合は、MENU/ENTERボタンを押してください。AUTO/EXIT ボタンでメニュー画面に戻ると、設定値は保存されません。

10 秒以上ボタン操作を行わなかった場合、自動的にメニュー画面が消去されます。そのとき、調整値は保存されます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

**重要**

- 各解像度とも保存された内容で画面が表示されます。

## ■調整項目の内容

| アイコン | 表　示 | 名　称 | 機　能 |
|---|---|---|---|
|  | BRIGHTNESS | ブライトネス | 画面全体の明るさを調整します。 |
|  | CONTRAST | コントラスト | 画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。 |
|  | COLOR | カラー調整 | 画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤 / 緑 / 青の色合いを個別に設定できます。 |
|  | POSITION | 画面位置 | 表示位置を上下左右に調整します。 |
|  | CLOCK | クロック | 帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。 |
|  | FOCUS | フォーカス | 文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。 |
| sRGB | sRGB | sRGB | sRGB の ON/OFF の切り替えができます。 |
|  | PICTURE MODE | ピクチャーモード | 画面の明暗のバランスを 2 種類から選べます。 |
| PC | PC | PC モード | 通常のパソコン画面に適しています。 |
| VIDEO | VIDEO | VIDEO モード | 動画に適したメリハリのある画像にします。 |
| BLK | BLACK LEVEL | 黒レベル | 黒色のレベルを任意に設定できます。 |
|  | OTHER | その他 | その他の設定をします。 |
| 640⇔720 | TEXT MODE | テキストモード | 640 × 400 と 720 × 400 の解像度(モード)を切り替えます。 |
| LOGO | LOGO | ロゴ | 起動時のロゴを表示するかしないかを設定できます。 |
| DDC/CI | DDC/CI | DDC/CI | VESA DDC/CI の ON/OFF の切り替えができます。 |
|  | BUTTON LOCK | ボタンロック | MENU/ENTER ボタン、＋／－ボタン、AUTO/EXIT ボタン、電源ボタンを無効にすることができます（ボタンロック中にこれらのボタンを操作すると、画面上に "BUTTON LOCKED" と表示されます）。ロックを解除するには、MENU/ENTER ボタンを 3 秒以上（メインメニューが表示されるまで）押し続けてください。 |

| アイコン | 表　示 | 名　称 | 機　能 |
|---|---|---|---|
|  | INFORMATION | インフォメーション | 現在表示されている解像度、垂直同期周波数および各種調整項目（一部を除く）の設定値を表示します。 |
|  | RECALL | リコール | ご購入時の設定値に戻します。<br>・READJUSTING<br>全項目を戻します。<br>・GEOMETRY<br>表示している解像度（モード）の画面位置、クロック、およびフォーカスを戻します。<br>・COLOR<br>ブライトネス、コントラスト、黒レベル、sRGB、およびカラー調整を戻します。 |

## ■音量調整（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、＋ボタンで直接調整できます。

| アイコン | 表　示 | 名　称 | 機　能 |
|---|---|---|---|
|  | VOLUME | スピーカー音量 | スピーカーの音量を調整します。 |

**POINT**

- 省電力動作時、音声出力は止まります。

# 7 省電力機能について

本製品はパソコンの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画面の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。
省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。
本製品は、パソコン本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの省電力状態に移行します（省電力機能については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください）。

| | | 通常時 | 省電力動作時 | | | 電源ボタン「オフ」時 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 入力信号 | 映像 | あり | なし | なし | なし | ― |
| | 水平同期信号 | あり | なし | あり | なし | ― |
| | 垂直同期信号 | あり | あり | なし | なし | ― |
| 動作 | 画面表示 | 表示あり | 表示なし | 表示なし | 表示なし | 表示なし |
| | 電源ランプ | 緑 | オレンジ | オレンジ | オレンジ | 消灯 |

## ■ 状態別エネルギー消費

| 型名 | 最大消費時 | 最小消費時（省電力動作時） | 電源ボタン「オフ」時 |
|---|---|---|---|
| VL-176SE、VL-176SX | 30W | 0.5W | 0.4W |
| VL-177SS、VL-177SSP | 37W | 0.5W | 0.4W |

**POINT**

- 「最大消費時」とはスピーカーの出力を最大にし、USB ハブのダウンストリームポートを 2 つとも使用して、各ポートあたり 500mA の電力を使用した場合です（VL-177SS、VL-177SSP の場合）。
- 「電源ボタン「オフ」時」の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことで避けることができます。

## ■ パソコン本体のアウトレットからの電力供給について

パソコン本体でスリープ／スタンバイ、または休止状態が設定されている場合、省電力動作時には、アウトレットから電力が供給されなくなります。
このため、VL-177SS、VL-177SSP で USB ハブ機能（→ P.21）をお使いの場合、電源ケーブルはパソコン本体のアウトレットを使用せずに、近くの壁のコンセントに接続してください。

# 8 こんなときには

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.41）にご相談ください。

## 画面が表示されない

| 症 状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源ランプが消灯している | 電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。 | 電源ケーブルを正しく、奥まで確実に接続してください。 | 「ケーブルを接続します。」（→ P.19） |
| | 電源が入っていない。 | 電源を入れてください。 | 「各部の名称と機能」（→ P.14）、（→ P.15） |
| 電源ランプが消灯し、キーボードやマウスが反応しない | パソコンが省電力状態になっている。 | パソコン本体を省電力状態から復帰（レジューム）させてください。 | パソコン本体のマニュアル |
| 電源ランプがオレンジ色に点灯している<br><br>MENU/ENTER ボタンを押すと「POWER SAVING」のメッセージが表示される | パソコンが省電力状態になっている。 | キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。 | 「省電力機能について」（→ P.32） |
| | ディスプレイケーブルが本製品またはパソコン本体に、正しく接続されていない。 | 本製品またはパソコン本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。 | 「ケーブルを接続します。」（→ P.19） |
| 電源ランプが点灯するが、画面が表示されない<br>場合によっては次のメッセージも表示される<br>「NO SIGNAL PLEASE CHECK CABLE SEE USER'S MANUAL H:***kHz V:***Hz」<br>「NO SYNC SIGNAL SEE USER'S MANUAL」 | 標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。 | パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 | 「標準表示仕様」（→ P.51）<br>および<br>パソコン本体のマニュアル |
| | ディスプレイケーブルが、本製品またはパソコン本体に正しく接続されていない。 | 本製品またはパソコン本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。 | 「ケーブルを接続します。」（→ P.19） |

# 画面がおかしい

| 症 状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 画面が暗くなった | 液晶パネル内部の蛍光管が、長期使用で暗くなっている。 | 有償にて交換（補修用性能部品単位）させていただきます。詳しくは「故障・修理に関するお問い合わせ先」、または購入元にご連絡ください。 | 「お問い合わせ先」（→ P.41） |
| 画面が暗い（画面が暗くなった）<br>（VL-177SS/<br>VL-177SSP の場合） | 明るさの設定値が小さすぎる。 | 明るさを調整してください。 | 「BRIGHTNESS」（→ P.30） |
| | エコモードが「AUTO」または「ON」になっている。 | ECO ボタンを押して、エコモードを「OFF」に設定してください。 | 「「エコモード」機能について（VL-177SS、VL-177SSP の場合）」（→ P.28） |
| | 明るさセンサーが何かに覆われている。 | 明るさセンサーを覆っているものを取り除いてください。 | 「明るさセンサー」（→ P.15） |
| BIOS 画面が表示されない、またはBIOS画面の表示時間が短い | ロゴ表示がBIOS画面と重なっている。 | ロゴ表示を「OFF」に設定してください。 | 「LOGO」（→P.30） |
| 格子状の表示画面がちらつく | フォーカスが合っていない。 | フォーカスを調整してください。 | 「FOCUS」（→ P.30） |
| 縦帯状の縞模様が見えることがある | クロックの調整が適切でない。 | クロックの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。 | 「CLOCK」（→ P.30）、「FOCUS」（→ P.30） |
| 点灯したままの点や黒い点が表示される | 液晶パネルの特性で、故障ではありません。 | 見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。 | パソコン本体のマニュアル |
| 水平方向に表示がはみ出る<br><br>画面いっぱいに表示されない | 画面位置の調整が適切でない。 | クロックの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。 | 「CLOCK」（→ P.30）、「POSITION」（→ P.30） |
| | 標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。 | パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 | 「標準表示仕様」（→ P.51）<br>および<br>パソコン本体のマニュアル |

| 症 状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 画面が消えることがある | 電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。 | 電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。 | 「ケーブルを接続します。」(→ P.19) |
| 文字の太さが場所によって異なる | フォーカス、クロックの調整が適切でない。 | クロックの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。 | 「CLOCK」(→ P.30)、「FOCUS」(→ P.30) |
| | 1280 × 1024 よりも低い解像度 (モード) になっている。 | デジタル処理で擬似的に拡大処理しているので、文字の太さが異なる場合があります。<br>最適な画面にするには「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度を 1280 × 1024 に設定してください。 | 「標準表示仕様」(→ P.51)<br>および<br>パソコン本体のマニュアル |
| 電源投入直後や Windows の起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある | パソコンからの信号が連続的に切り替わるために起こる。 | 故障ではありませんので、そのままお使いください。 | ― |
| 表示画面にむらがある (もやもやしている) | 液晶パネルの表面を押した。 | 本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。 | 「各部の名称と機能」(→ P.14)、(→ P.15) |
| | 液晶パネルの表面が保護パネルにより押されている (VL-177SSP の場合)。 | 保護パネルを正しく取り付けてください。 | 「保護パネルの取り付け方」(→ P.45) |
| | 保護パネルと液晶パネルの間に異物が入りこんでいる (VL-177SSPの場合)。 | 保護パネルの内側、液晶パネル面の汚れやゴミを取り除いてください。 | 「保護パネルを取り外して清掃する (VL-177SSP の場合)」(→ P.43) |

# 画面調整ができない

| 症 状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 画面上に「BUTTON LOCKED」と表示される | ボタンロックが有効になっている。 | MENU/ENTER ボタンを 3 秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。 | 「BUTTON LOCK」（→ P.30） |
| AUTO/EXITボタンによる自動調整ができず、次のメッセージが表示される「AUTO ADJUSTMENT FAILED SEE USER'S MANUAL」 | 画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。 | 表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度AUTO/EXITボタンを押して、自動調整を行ってください。 | 「AUTO セットアップアクション機能について」（→ P.27）、「ボタンの機能」（→ P.29） |
| AUTO/EXITボタンによる自動調整ができず、次のメッセージが表示される「UNSUPPORTED MODE SEE USER'S MANUAL」 | 標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。 | 「INFORMATION」で現在表示されている解像度（モード）を確認し、パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 | 「INFORMATION」（→ P.31）、「標準表示仕様」（→ P.51）、およびパソコン本体のマニュアル |
| BRIGHTNESS を調整しても画面が明るくならない | ECO AUTO となっている。<br>注：AUTO 設定時は、BRIGHTNESS 調整を行っても画面が明るくならない場合があります。 | ECO ボタンを押して、エコモードを「OFF」に設定してください。 | 「「エコモード」機能について（VL-177SS、VL-177SSP の場合）」（→ P.28） |

# 音が聞こえない／変な音が聞こえる（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

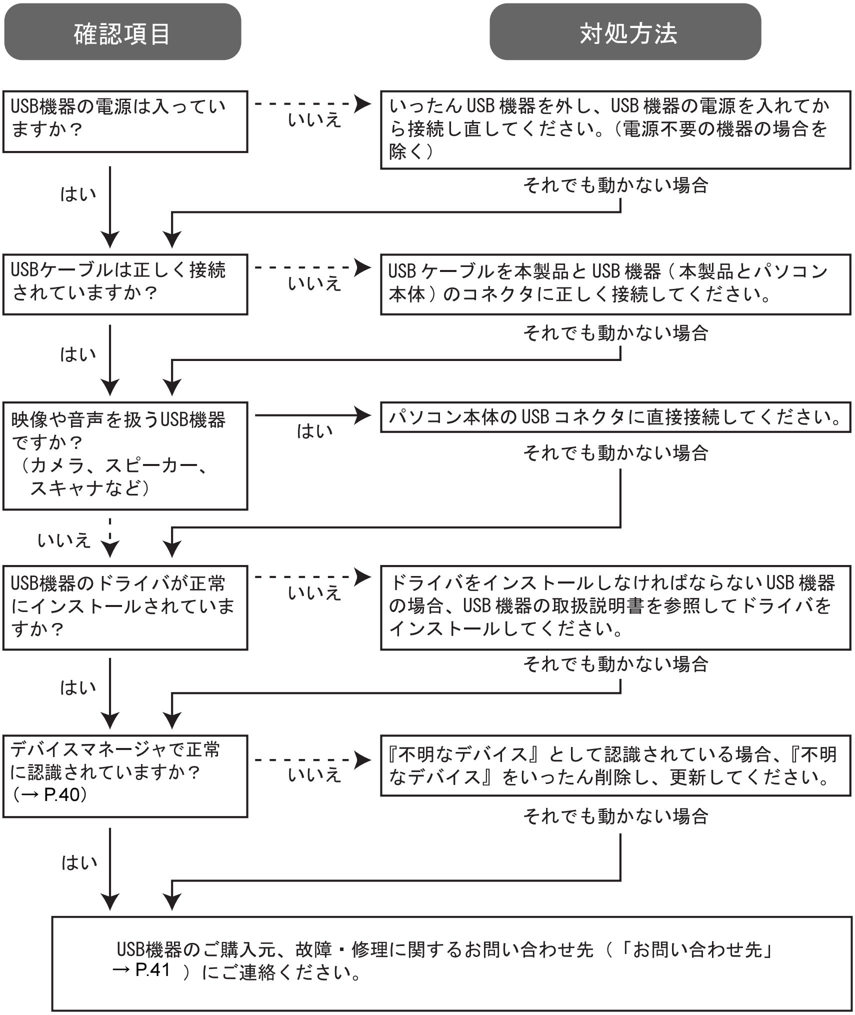
| 症 状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| スピーカーまたはヘッドホンから音が聞こえない | 本製品のスピーカー音量またはパソコン本体の音量設定が最小となっている。 | 適切な音量に調整してください。 | 「各部の名称と機能」（→ P.14）、「音量調整（VL-177SS、VL-177SSP の場合）」（→ P.31）、およびパソコン本体のマニュアル |
| | パソコン本体の音量の設定がミュートになっている。 | パソコン本体のミュートの設定を解除してください。 | パソコン本体のマニュアル |
| | オーディオケーブルが正しく接続されていない。 | オーディオケーブルが適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。 | 「ケーブルを接続します。」（→ P.19） |
| | パソコン本体が省電力状態、または電源がオフになっている。 | 省電力状態を解除する、またはパソコン本体を起動してください。 | パソコン本体のマニュアル |
| スピーカーまたはヘッドホンからプツプツという雑音が聞こえる | 本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。 | 故障ではありません。携帯電話、トランシーバーを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。 | ― |

# キーボードやマウスが認識されない（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

| 症 状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| Windows のセットアップ途中でキーボード、マウスが認識されない | USB ハブ経由で USB キーボード、マウスを使用している。 | パソコン本体に PS/2 タイプのキーボード、マウスを接続してください。またはパソコン本体の USB コネクタに USB キーボード、マウスを接続してください。 | パソコン本体のマニュアル |
| BIOS でキーボード、マウスが認識されない | BIOS の設定で USB コントローラが設定されていない。 | パソコン本体に PS/2 タイプのキーボード、マウスを接続し、BIOS で USB コントローラの設定を「使用する」にしてください。 | パソコン本体のマニュアル |
| パソコンが省電力状態（スリープ／スタンバイ、または休止状態）のとき、キーボード、マウスが正常に動作しない | 本製品の電源ケーブルがパソコン本体のアウトレットに接続されている。 | 本製品の電源ケーブルを壁のコンセントに接続してください。 | 「ケーブルを接続します。」（→ P.19）、「パソコン本体のアウトレットからの電力供給について」（→ P.32） |

# USB 機器が動かない（VL-177SS、VL-177SSP の場合）

次のチャートに従って原因を確認し、対処してください。



**POINT**

- デバイスマネージャ上での確認方法
  - ・Windows Vista の場合
    1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」の「デバイスマネージャ」をクリックし、デバイスマネージャを表示します。
    2. デバイスマネージャの「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の下に表示される汎用 USB ハブのアイコンを確認します。
       ！または↓が付いていなければ正常に認識されています。
  - ・Windows XP の場合
    1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」の「システム」をクリックして「システムのプロパティ」を表示します。
    2. 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックし、デバイスマネージャを表示します。
    3. デバイスマネージャの「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下に表示される汎用 USB ハブのアイコンを確認します。
       ! または×が付いていなければ正常に認識されています。
- USB 機器が不明なデバイスとして認識されている、または USB 機器が認識できない場合の対処方法

  下記手順に従って接続し直してください。

  注：USB 機器の電源が入っていることを、必ず確認してください。

  1. すべてのソフトウェアを終了します。
  2. 本製品と USB 機器間の USB ケーブルを抜きます。
  3. 本製品とパソコン間の USB ケーブルを一度抜き、もう一度接続します。
  4. 本製品と USB 機器間を USB ケーブルで接続します。

# お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

＊故障・修理に関するお問い合わせ先
［法人のお客様］
■「富士通ハードウェア修理相談センター」
・ 通話料無料　0120-422-297
・ お問い合わせ時間　9：00 〜 17：00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
［個人のお客様］
■「故障や修理に関する受付窓口」
・ 通話料無料　0120-926-220
・ お問い合わせ時間　24 時間・365 日対応

＊技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先
■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
・ 通話料無料　0120-950-222
・ お問い合わせ時間　9：00 〜 17：00（土曜、日曜、祝日を除く）

・ おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
・ 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
　お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
・ システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

# 9 日常のお手入れ

## 清掃する

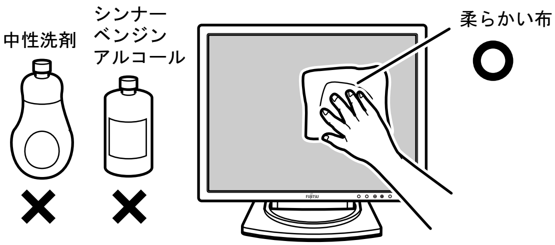
お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

**重要**

- 化学ぞうきんや市販クリーナーは、以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷付ける場合がありますので、ご使用を避けてください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含んだもの
  
  など
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

### □ 画面（液晶パネル）および保護パネル（VL-177SSP の場合）

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。




（イラストは機種や状況により異なります）

保護パネルの取り外し方（VL-177SSP の場合）については、「保護パネルを取り外して清掃する（VL-177SSP の場合）」（→ P.43）をご覧ください。

### □ カバー

水または中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。




（イラストは機種や状況により異なります）

## 保護パネルを取り外して清掃する（VL-177SSP の場合）

保護パネルと液晶パネルの間にゴミが入ったときは、次の方法でパネルを外して清掃した後、再度取り付けてください。

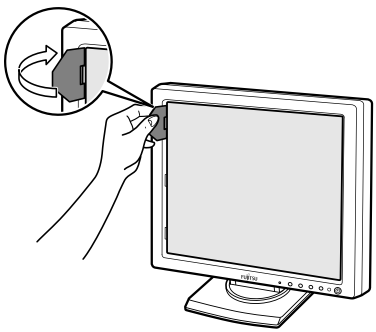
### ⚠ 注意

- 取り外し／取り付け時は、必ずジグを使用してください。また、ジグはなくさないように、大切に保管してください。
- 保護パネルを外したままで使用しないでください。
- 保護パネルを頻繁に取り外さないでください。液晶パネルに傷が付くことがあります。
- 保護パネルを取り付けた後は、画面を下向きに設置しないでください。保護パネルが外れることがあります。

### ■ 保護パネルの取り外し方

**1 ジグを使って、保護パネルの左右各 3ヶ所のツメを外します。**

ジグをパネル外側に向けて差し、内側に返すようにして取り外します。

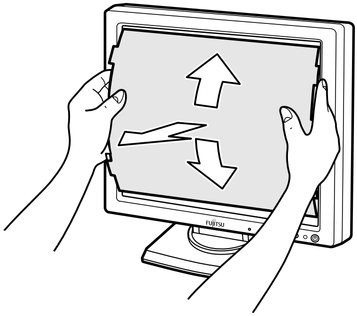


**POINT**

▶取り外しにくい場合はジグを裏返して使用してください。

## 2 保護パネルを本製品から取り外します。

左右中央を持ち、手前に曲げながら外してください。曲げすぎると割れるおそれがありますので、ご注意ください。




## ■ 保護パネル、液晶パネルの清掃

保護パネルの内側、液晶パネル面の汚れやゴミを取り除いてください。
「清掃する」（→ P.42）

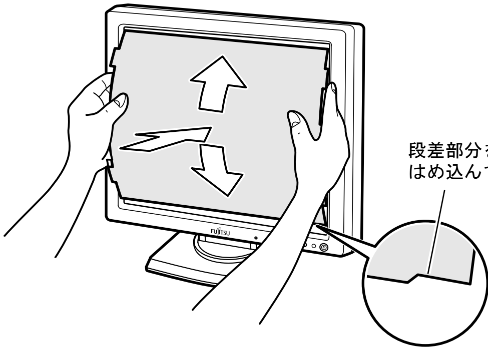
**POINT**

- 清掃時、静電気によりゴミが取りにくい場合があります。そのときは、市販の除電ブラシなどのご使用をお勧めします。

## ■保護パネルの取り付け方

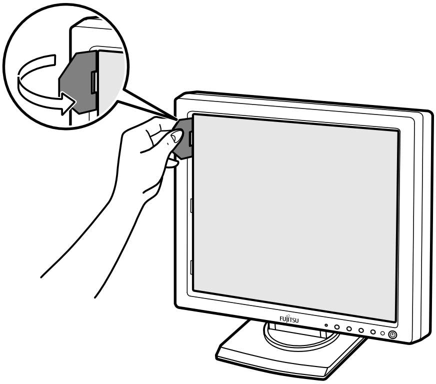
**1** **保護パネルの切り込みが右下になるように、保護パネルを本製品にはめ込みます。**

保護パネルの下辺、上辺の順にはめ込みます。




**2** **ジグを使って、保護パネルの左右各 3ヶ所のツメをはめ込みます。**

ジグをパネル内側に向けて差し、外側に返すようにしてはめ込みます。



# 10 リサイクルについて

## ■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- 液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。
- 法人、企業のお客様へ
  本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。
- 個人のお客様へ
  本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。
  詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

# 11 仕様

## 本体仕様

### ■ VL-176SE

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 接続 PC 本体 | | FMV シリーズ、AT 互換機 |
| 入出力 I/F（コネクタ） | アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン） | 映像信号：アナログ（セパレート同期信号 /TTL）<br>0.7Vp-p（正極性）、75Ω インピーダンス |
| 表示部 | 画面サイズ | 17 型（対角 43cm） |
| | 表示寸法 | 337.9mm（H）× 270.3mm（V） |
| | 液晶パネル | TFT カラー液晶 |
| | 解像度 | 1280 × 1024 ドット |
| | 画素ピッチ | 0.264mm × 0.264mm |
| | 表示色 | 1677 万色 |
| | 輝度 | 250cd/$m^2$（Typ.） |
| | コントラスト比 | 500:1 |
| | 応答速度 | 8ms |
| | 視野角 | 上下 140 度、左右 140 度 |
| 機能 | 入力対応解像度 | 640 × 400、640 × 480、720 × 400、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 |
| | チルト | 下 0 〜上 20 度 |
| | スイーベル | 左右各 90 度 |
| 電源 | 入力 | AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート） |
| | 最大消費電力 | 30W |
| | 通常消費電力 | 30W |
| | 最小消費電力（省電力動作時） | 0.5W |
| | 電源ボタン「オフ」時 | 0.4W |
| 寸法 | | 380mm（W）× 340mm（H）× 175mm（D） |
| 質量 | | 約 3.4kg（本体）　約 3.2kg（表示部のみ） |
| 使用条件 | | 温度 :5 〜 35 ℃ |
| | | 湿度 :10 〜 90%（結露しないこと） |

## ■ VL-176SX

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 接続 PC 本体 | | FMV シリーズ、AT 互換機 |
| 入出力 I/F（コネクタ） | アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン） | 映像信号：アナログ（セパレート同期信号 /TTL）<br>0.7Vp-p（正極性）、75 Ω インピーダンス |
| 表示部 | 画面サイズ | 17 型（対角 43cm） |
| | 表示寸法 | 337.9mm（H）× 270.3mm（V） |
| | 液晶パネル | TFT カラー液晶 |
| | 解像度 | 1280 × 1024 ドット |
| | 画素ピッチ | 0.264mm × 0.264mm |
| | 表示色 | 1677 万色 |
| | 輝度 | 220cd/$m^2$（Typ.） |
| | コントラスト比 | 500:1 |
| | 応答速度 | 8ms |
| | 視野角 | 上下 140 度、左右 140 度 |
| 機能 | 入力対応解像度 | 640 × 400、640 × 480、720 × 400、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 |
| | チルト | 下 0 〜上 20 度 |
| | スイーベル | 左右各 90 度 |
| 電源 | 入力 | AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート） |
| | 最大消費電力 | 30W |
| | 通常消費電力 | 30W |
| | 最小消費電力（省電力動作時） | 0.5W |
| | 電源ボタン「オフ」時 | 0.4W |
| 寸法 | | 380mm（W）× 340mm（H）× 175mm（D） |
| 質量 | | 約 3.4kg（本体）　約 3.2kg（表示部のみ） |
| 使用条件 | | 温度 :5 〜 35 ℃ |
| | | 湿度 :10 〜 90%（結露しないこと） |

## ■VL-177SS

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 接続 PC 本体 | | FMV シリーズ、AT 互換機 |
| 入出力 I/F（コネクタ） | アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン） | 映像信号：アナログ（セパレート同期信号 /TTL）<br>0.7Vp-p（正極性）、75 Ω インピーダンス |
| | AUDIO IN | 0.7Vrms（typ）12.7k Ω インピーダンス |
| | ヘッドホン | 0.185mW/ch（32 Ω インピーダンスのヘッドホンを推奨） |
| | USB | USB 1.1 |
| 表示部 | 画面サイズ | 17 型（対角 43cm） |
| | 表示寸法 | 337.9mm（H）× 270.3mm（V） |
| | 液晶パネル | TFT カラー液晶 |
| | 解像度 | 1280 × 1024 ドット |
| | 画素ピッチ | 0.264mm × 0.264mm |
| | 表示色 | 1677 万色 |
| | 輝度 | 300cd/$m^2$（Typ.） |
| | コントラスト比 | 800:1 |
| | 応答速度 | 5ms |
| | 視野角 | 上下 160 度、左右 160 度 |
| 機能 | 入力対応解像度 | 640 × 400、640 × 480、720 × 400、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 |
| | チルト | 下 0 ～上 20 度 |
| | スイーベル | 左右各 90 度 |
| 電源 | 入力 | AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート） |
| | 最大消費電力 | 37W |
| | 通常消費電力 | 30W（ECO ON 時：約 15W） |
| | 最小消費電力（省電力動作時） | 0.5W |
| | 電源ボタン「オフ」時 | 0.4W |
| USB ハブ部 | 電源方式 | セルフパワー電源 |
| | 供給可能電流 | 500mA（max）／ 1 ポートあたり |
| | 動作環境 | Windows Vista/Windows XP |
| | ポートコネクタ | アップストリーム：1 ポート／シリーズ B |
| | | ダウンストリーム：2 ポート／シリーズ A |
| スピーカー | 出力 | 1W × 2　8 Ω インピーダンス |
| | 周波数特性 | 450Hz ～ 20kHz（0.5W 出力時） |
| 寸法 | | 380mm（W）× 340mm（H）× 175mm（D） |
| 質量 | | 約 3.5 kg（本体）　約 3.3kg（表示部のみ） |
| 使用条件 | | 温度 :5 ～ 35 ℃ |
| | | 湿度 :10 ～ 90%（結露しないこと） |

## ■ VL-177SSP

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 接続 PC 本体 | | FMV シリーズ、AT 互換機 |
| 入出力 I/F（コネクタ） | アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン） | 映像信号：アナログ（セパレート同期信号 /TTL）<br>0.7Vp-p（正極性）、75Ω インピーダンス |
| | AUDIO IN | 0.7Vrms（typ）12.7kΩ インピーダンス |
| | ヘッドホン | 0.185mW/ch（32 Ω インピーダンスのヘッドホンを推奨） |
| | USB | USB 1.1 |
| 表示部 | 画面サイズ | 17 型（対角 43cm） |
| | 表示寸法 | 337.9mm（H）× 270.3mm（V） |
| | 液晶パネル | TFT カラー液晶 |
| | 保護パネル | アンチグレア処理、硬度：4H、透過率：90%以上 |
| | 解像度 | 1280 × 1024 ドット |
| | 画素ピッチ | 0.264mm × 0.264mm |
| | 表示色 | 1677 万色 |
| | 輝度 | 280cd/$m^2$（Typ.） |
| | コントラスト比 | 800:1 |
| | 応答速度 | 5ms |
| | 視野角 | 上下 160 度、左右 160 度 |
| 機能 | 入力対応解像度 | 640 × 400、640 × 480、720 × 400、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 |
| | チルト | 下 0 ～上 20 度 |
| | スイーベル | 左右各 90 度 |
| 電源 | 入力 | AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート） |
| | 最大消費電力 | 37W |
| | 通常消費電力 | 30W（ECO ON 時：約 15W） |
| | 最小消費電力（省電力動作時） | 0.5W |
| | 電源ボタン「オフ」時 | 0.4W |
| USB ハブ部 | 電源方式 | セルフパワー電源 |
| | 供給可能電流 | 500mA（max）／1 ポートあたり |
| | 動作環境 | Windows Vista/Windows XP |
| | ポートコネクタ | アップストリーム：1 ポート／シリーズ B |
| | | ダウンストリーム：2 ポート／シリーズ A |
| スピーカー | 出力 | 1W × 2　8Ω インピーダンス |
| | 周波数特性 | 450Hz ～ 20kHz（0.5W 出力時） |
| 寸法 | | 380mm（W）× 340mm（H）× 175mm（D） |
| 質量 | | 約 3.6kg（本体）　約 3.4kg（表示部のみ） |
| 使用条件 | | 温度 :5 ～ 35 ℃ |
| | | 湿度 :10 ～ 90%（結露しないこと） |

# 標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の 14 種類の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインタレースの信号は対応していません）。

〇 : 表示可能　◎ : 推奨解像度（モード）

| No. | 解像度 | 水平周波数 | 垂直周波数 | 極性（H/V） | 表示可能解像度（モード） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 640 × 400 注 | 31.5kHz | 70Hz | (-/+) | 〇 |
| 2 | 640 × 480 | 31.5kHz | 60Hz | (-/-) | 〇 |
| 3 | 640 × 480 | 37.5kHz | 75Hz | (-/-) | 〇 |
| 4 | 640 × 480 | 37.9kHz | 72Hz | (-/-) | 〇 |
| 5 | 720 × 400 注 | 31.5kHz | 70Hz | (-/+) | 〇 |
| 6 | 800 × 600 | 35.2kHz | 56Hz | (-/-)（+/+) | 〇 |
| 7 | 800 × 600 | 37.9kHz | 60Hz | (+/+) | 〇 |
| 8 | 800 × 600 | 46.9kHz | 75Hz | (+/+) | 〇 |
| 9 | 800 × 600 | 48.1kHz | 72Hz | (+/+) | 〇 |
| 10 | 1024 × 768 | 48.4kHz | 60Hz | (-/-) | 〇 |
| 11 | 1024 × 768 | 56.5kHz | 70Hz | (-/-) | 〇 |
| 12 | 1024 × 768 | 60.0kHz | 75Hz | (+/+) | 〇 |
| 13 | 1280 × 1024 | 64.0kHz | 60Hz | (+/+) | ◎ |
| 14 | 1280 × 1024 | 80.0kHz | 75Hz | (+/+) | 〇 |

注 ：メニュー画面の「TEXT MODE」（→ P.30）から手動で切り替えてください。

### 重要

- 接続するパソコンの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、画面下部にある AUTO/EXIT ボタン（→ P.29）を押して、画面の自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面の「POSITION」（→ P.30）と「FOCUS」（→ P.30）で調整してください。パソコン側での微調整は行わないでください。
- 上表以外の解像度（モード）にパソコンを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- 上表の解像度（モード）は、すべて全画面表示となります。
- 1280 × 1024 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生したりすることがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバータで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

# コネクタ仕様

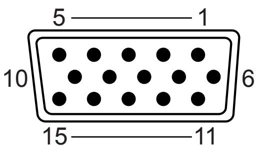
## ■ アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン）

### 端子配列表

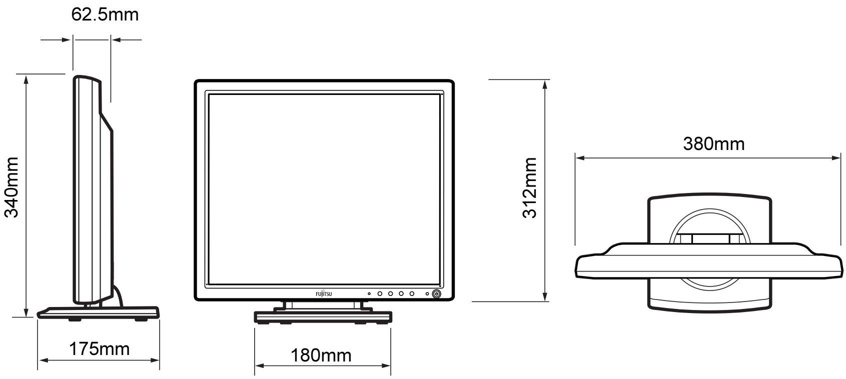
| No. | 信号 | No. | 信号 | No. | 信号 |
|---|---|---|---|---|---|
| (1) | R（映像） | (6) | アース | (11) | NC 注 |
| (2) | G（映像） | (7) | アース | (12) | DDC DATA |
| (3) | B（映像） | (8) | アース | (13) | 水平同期 |
| (4) | NC 注 | (9) | NC 注 | (14) | 垂直同期 |
| (5) | アース | (10) | アース | (15) | DDC CLOCK |

注　: NC: 未接続

### 端子配列図




# 外形図



**FMV シリーズ**
**カラー液晶ディスプレイ -17（VL-176SE/176SX/177SS）**
**保護パネル付カラー液晶ディスプレイ -17（VL-177SSP）**
**オンラインマニュアル**


B5FY-8971-01 Z0-01

発 行 日　2008 年 10 月
発 行 責 任　富士通株式会社